

新型コロナウイルスに  
負けない!

# 市民のくらしを守る支援策

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた沖縄市民の生活・雇用を守るため、市独自の支援策を実施します。

## 経済分野

### 沖縄市県外学生支援／担当課:農林水産課

新型コロナウイルス感染症により、帰省自粛や生活不安の影響を受けている沖縄市出身の県外学生に対し、市産品を贈って応援いたします。

期 間 令和3年1月31日(日)まで

対 象 者 日本国内かつ沖縄県外に居住している学生

申 請 者 沖縄市在住の保護者または県外学生本人

申請方法 スマートフォンやパソコン等から「沖縄市県外学生支援」で検索、または上記QRコードから、申請画面に必要項目および必要書類画像を添付してお申し込みください。

必要書類 ①保護者の住民票または運転免許証 ②学生の学生証又は在学証明書

送付数には限りがあり、申請日によってはご希望の商品が無い場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ 県外学生支援担当事業者 株式会社ラクセスイノベーション TEL 050-3188-5074



### 沖縄市飛沫感染防止店舗改修事業補助金・沖縄市感染症対策に係る備品整備補助金 2次募集／担当課:商工振興課

新型コロナウイルス感染症対策を目的とした店舗の改修、備品整備にかかる費用を補助します。補助内容を拡充しましたので、改めてご確認ください、申請をお願いいたします。

申請期限 12月31日(木) 当日消印有効

主な拡充内容 ・対象事業の追加(小売業など) ・対象経費の拡大(備品整備補助金のみ)

補 助 率 店舗改修:工事費用の4/5以内・上限30万円 備品整備:費用の4/5以内・上限15万円

詳細につきましては、市公式ホームページをご確認ください。

お問い合わせ 沖縄市事業所改装等促進事業事務局 TEL 080-9854-2526

### 沖縄市にエール!最大30%戻ってくるキャンペーン!／担当課:商工振興課

只今、市役所1階ロビーにて、PayPayのアプリのサポートブースを設けています。

スマートフォンを持っているけれど、PayPayは使ったことがない、難しそう、良く分からない、という方もいらっしゃると思います。ぜひ、スマートフォンを持って、お気軽にお立ち寄りください!

アプリのダウンロード方法、チャージ方法、使い方などを丁寧にお教えします。

#### 《キャンペーン内容》

11月1日～1月31日までの3か月間、沖縄市内の対象店舗にてPayPay(QRコード決済)でお支払いした方に、決済金額の30%がキャッシュバックされます。

対象店舗は、1200店舗以上! のぼりが目印です。

専用ホームページやアプリ内マップでも対象店舗を確認することができます。

対象店舗を利用して、みんなで沖縄市の経済活性化を応援しましょう!

お問い合わせ 「沖縄市にエール!最大30%戻ってくるキャンペーン」事務局 TEL 0120-008-324



対象店舗でPayPay残高でのお支払いで

最大 **30%** 戻ってくる

期間:2020年 11月1日・2021年 1月31日まで

付与上限 **3,000円相当** / 回・期間

対象店舗は のぼりが目印

※1 ヤフーカード以外のクレジットカードは対象外  
※2 付与されるPayPayボーナスはPayPay / ワイジェイカード公式ストアでの利用可能。出金・譲渡不可

# 新型コロナウイルス感染対策へのご支援ありがとうございました

寄付・寄贈をしていただいた皆さまをご紹介します。  
寄贈していただいた物品は、感染拡大防止対策に有効活用しています。



市から各団体等へ

社会医療法人敬愛会 中頭病院へ 医療用グローブ  
[コザパイロットクラブ(会長 中山 香)から本市へいただいた  
寄付金を活用]



県立美来工科高等学校 (校長 名幸 哲) 土木工学科3年生  
こども用足踏み式消毒液スタンド 3台 [泡瀬小学校へ]

11/9

## 沖縄市社交業・飲食業向け新型コロナウイルス感染症講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一つとして、沖縄市社交業・飲食業向け講演会を開催しました。

桑江市長は、油断できない市内の感染状況に触れ、「感染者ゼロにするには、一店舗一店舗の感染防止対策の協力が必要。感染拡大を防ぐにはどうすれば良いのかを考えていただきたい」等と訴えました。

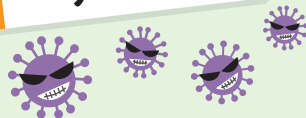
講師には、社会医療法人敬愛会中頭病院から、感染症内科医長の大城雄亮氏と感染管理認定看護師の伊波千恵子氏を迎え、「専門医が語る新型コロナウイルス感染症に対する基礎知識と感染対策」と題し、最近の重症化・死亡の割合や重症化しやすい人、診断方法や後遺症などについて講演しました。

また、コロナ禍における介護現場の実情について、NPO法人ゆくりの佐久川伊弘氏が、介護施設で実際にあった事例を交え、感染リスクの高い高齢者等を守るためには「一人ひとりが自分事としてとらえて対策をとっていくしかない」と感染対策の大切さを話しました。



## 気を緩めずに、感染防止対策の徹底を!

市民健康課より  
健康づくり  
ノート



マイクロ飛沫感染を防ぐには「換気」が重要です!

**「手洗い」「マスク着用」「3密回避」を続けましょう!**

季節性インフルエンザに関して、県内では、今年1月8日に発令されたインフルエンザ注意報の解除(2月28日)以降、例年と比べ患者数は激減しています。

昨年の夏は、県内にインフルエンザ警報が発令されましたが、今年は注意報解除以降、患者はほぼ発生しておらず、主な感染経路である飛沫感染と接触感染を防げていることが伺われます。

**マイクロ飛沫感染を防ぐには「換気」が非常に有効です!**

マイクロ飛沫感染とは、マイクロ飛沫(空気中に漂う微粒子)を吸い込むことによって感染するもので、3密や大声の環境で起こりやすいことがわかっており、新型コロナウイルスの感染経路の一つです。

対策としては、空気中のマイクロ飛沫を室外に排出することができる換気が有効です。

なお、屋外を歩いたり、十分な換気が行われている環境では、マイクロ飛沫感染は起こりにくいと考えられています。

**3密と大声を避け、十分な換気と基本的な感染対策を徹底しましょう!**

お問い合わせ 市民健康課 (内線2241)